

空想の森

7月26日よりモーニング公開

ボレボレ東中野

監督/田代陽子 出演/山田聡美、山田あかり、山田憲一、宮下嘉夫、宮下文代 上映

時間/129分 配給/森の映画社



96年から北海道新得町で開催されている小さな映画祭Ⅱ「新得空想の森映画祭」。そこでの出会いをきっかけに、本作の田代監督は藤本幸久監督（「アメリカババざい」）のスタッフになったという。社会にうまくなじめない人、心身に障害を持った人と共に生きていく場所として設立された「新得共働学舎」。そこで自分ができる仕事を乐しげに（時にはきつそうに）こなす彼らの姿を、温かく追うカメラ。当然ながら、そこには社会からはみ出したなどという負の陰はかけらもない。ただ地に足をつけて「生きる」ことの意味と、そんな些細な（でも素晴らしい）日常への愛がつまっている。

小さな町で暮らす“豊かな”人々



ココに注目

本当の意味で豊かな生活を送る新得町の人々

農業、チーズ作り（おいしそう！）などに従事し、物質的には質素な生活を送る新得町の人々。だが食卓に並ぶ色とりどりの野菜が物語るように、その生活は限りなく豊かだ。

